

## 市議会臨時会

平成24年第1回常陸大宮市議会臨時会が、2月16日に開会され、次の議案が審議され、可決されました。

### 条例

○常陸大宮市介護保険条例の一部を改正する条例

### 平成23年度補正予算

○平成23年度常陸大宮市一般会計補正予算

## 市議会定例会

平成24年第1回常陸大宮市議会定例会が、2月28日から3月23日まで開会されました。この定例会では、次の議案の審議が行われ、可決されました。

### 市長提出議案

### 平成24年度予算

○常陸大宮市一般会計・特別会計(11会計)予算

### 条例

○常陸大宮市震災復興基金条例  
○常陸大宮市行政組織条例の一部を改正する条例  
○常陸大宮市移動通信用鉄塔施設整

備事業分担金条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市職員定数条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市手数料徴収条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市立図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市社会体育施設条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市火災予防条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市老人福祉施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例

○常陸大宮市肉用牛特別導入事業基金条例を廃止する条例

### 平成23年度補正予算

○常陸大宮市一般会計・特別会計(11会計)補正予算

### その他

○常陸大宮市総合計画後期基本計画について

○市道路線の認定、廃止、変更について

○指定管理者の指定について  
○工事請負契約の締結について(2件)

## 教育委員会で点検・評価実施

市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、平成21年度より教育行政点検評価委員会を設置し、教育委員会の事務の管理執行状況の点検・評価を行っています。

評価委員は、茨城大学教育学部的小泉教授、茨城県南生涯学習センターの新家次長、元市代表監査委員の浅川氏の3人に委嘱。平成23年12月と平成24年1月に、平成22年度の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書をもとに教育行政点検評価委員会が開催されました。

点検及び評価は、11事業を選定して行われ、見直し1事業、現行どおり10事業という結果となりました。

見直しと評価されたのは、市立幼稚園で実施されている「預かり保育推進事業」で、利用者が少ないことから、今後の幼保統合や民間保育所との連携を視野に入れた新しいシステムの検討が必要との意見が出されました。

その他の意見等については、市ホームページをご覧ください。

市教育委員会では、今後も毎年委員会を開催し教育委員会の活動の透明性を高め、市民に信頼される教育

行政を推進していきます。

### 問い合わせ

教育委員会

教育総務課教育総務グループ  
☎52-11111内線348

## 常陸大宮市東北関東大震災義援金配分委員会が開催されました

2月27日、第2回常陸大宮市東北関東大震災義援金配分委員会が開かれ、義援金の追加配分基準を次のとおり決定しました。

### 配分金額

◆全壊(住宅) 6万円

◆半壊(住宅) 3万円

(大規模半壊含む)

### 支給方法

常陸大宮市災害見舞金申請時に指定していただいた口座に振り込みました。

### 問い合わせ

福祉課 社会福祉グループ  
☎52-11111内線132

## ご支援ありがとうございました ～「東日本大震災」義援金受付終了～

東日本大震災における当市の義援金の受付は、3月30日で終了させていただきました。

皆さんの温かいご支援に感謝し、受付状況をご報告させていただきます。

466件  
26,520,023円



## 放射線量測定装置設置

3月上旬、市役所敷地内北側に、放射線量を測定する放射線監視装置が設置されました。

この装置は、国により設置された物で県内に39基設置されています。24時間リアルタイムで地上1メートルの放射線量を測定するもので、計測された放射線量が電光掲示板に表示されます。

また、市内には市役所のほか、根本地区の上野小学校にも線量測定装置があり、常時放射線量を測定しています。数値は市役所1階に設置してある環境放射線監視データ表示装置で確認することができます。(土曜日、祝日を除く午前8時15分から午後5時30分)

## 東日本大震災から1年

東日本大震災からちょうど1年となる3月11日、市文化センター小ホールで、東日本大震災における感謝状贈呈式と講演会が開催されました。

贈呈式では、災害応急に尽力された7団体と支援物資等を提供された29団体2個人に対し、市長より感謝状の贈呈が行われ、災害時の協力に対し、改めて感謝の意を表しました。

また、贈呈式終了後には、(財)原子力安全技術センターの田村勝裕氏を講師に迎え、「身の回りの放射線と食の安全」と題した講演会が行われ、野菜や果物を食べた場合等の年間被ばく線量を具体例に挙げ、健康影響に関する説明がなされ、正しい知識を得ることができました。

さらに、地震発生の午後2時46分には1分間の黙とうを実施。犠牲者の方のご冥福を祈りました。



## スポーツ大会結果

### 第6回常陸大宮市近郊交流卓球大会

開催日：3月4日  
主催：市卓球連盟(寺門信義会長)  
会場：西部総合公園体育館  
参加チーム：136チーム  
(男子72チーム・女子64チーム)

#### 男子の部

優勝 球友クラブJrA  
準優勝 東海クラブ  
第3位 益子町立益子中学校A  
茂木町立逆川中学校A

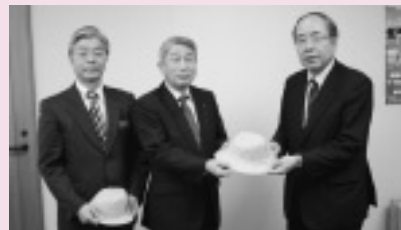
#### 女子の部

優勝 東海クラブA  
準優勝 藤代卓信会  
第3位 市貝町立市貝中学校  
小川卓球スポーツ少年団A

## 善意をありがとう

(新入学児童の安全を願って)

敬称略



茨城みどり農協(柏盛幸組合長)  
通学帽

～広報常陸大宮3月号に誤りがありました～

P6 「平成24年度常陸大宮市行政組織・機構図」

誤 医療保険課 ..... 医療保険G

正 医療保険課 ..... 医療保険G  
国保美和診療所 国保緒川歯科診療所

お詫びして訂正します。

完成したふたつの「いずみ」  
展示中!

分かりますか? どうですか?

広報常陸大宮で7回にわたり修復とレプリカ作成の様子をお伝えしてきた、市内泉坂下遺跡出土の人面付土器「いずみ」。作業が完了し、去る3月下旬、10カ月ぶりに資料館に帰って来ました。

表紙の写真をご覧ください。どちらが本物で、どちらがレプリカ(複製品)か、お分かりになりますか? 「写真では分からない」という方は、資料館に並べたふたつをじっくり見比べて、本物と思う方に投票してください。さあ、皆さんは「本物の分かる人」になれるでしょうか!?

本物とレプリカを全国行脚

日本国内では、毎年約7千件の発掘調査が行われています。文化庁では、その中で近年特に注目されている約20遺跡、5百点ほどの遺物を厳選して、毎年「発掘された日本列島」展を開催し、国内各地を巡回させています。この今年度の列島展に、修復の完了した「いずみ」を含む泉坂下遺跡出土の土器5点と玉類5点が出展されることとなっていて、壮行会も兼ねて、貸し出すまでの間(5月中旬頃まで)これらの遺

物を常設展の一角に展示しています。こちらもぜひご注目ください。

いずみ、本の表紙になりました

このたび出版された『列島の考古学 弥生時代』の表紙カバーを、銅鐸やガラス製の腕輪とともに「いずみ」の写真が飾りました。もちろん、本文中にもカラーで掲載されていて、隣りのページには市内小野天神前遺跡で出土した人面付土器(茨城県立歴史館所蔵)も載っています。これは、常陸大宮市の人面付土器が日本の弥生時代を代表する出土品として評価された証拠。子どもたちの教科書に採用される日も近いかもしれません。

滅多に見ることのできないレプリカ製作に使用した型も展示中。この機会に、歴史民俗資料館に足を運んでみてください。



市民の方からの まちのできごと

第7回JAバンク茨城Cupで準優勝

大宮サッカースポーツ少年団  
指導者 大林 栄一

「ケースデンキスタジアムで決勝戦!」を目標に予選をすべて無失点で勝ち上がり、ついにそれを全員の力で実現しました。

そして迎えた3月4日の決勝戦。この試合はJ2水戸ホーリーホックの開幕戦の前座試合として行われました。チャンスを生かすことができず、惜しくも優勝は逃しましたが、多くの観客が見守るなかプレーできたことは、サッカーの神様が夢に向かう子どもたちの努力を少しだけ認めてくれたのだと思います。



いっしょにまちづくり

一緒に研究しませんか?



茨城大学人文学部  
社会科学科4年  
二川ナオミさん

今年も茨大生の常陸大宮市における研究活動を発表する「アクションミーティング」を3月3日に開催しました。私は仲間とともに「交流活動に取り組む市民グループと学生の協働についての分析」というテーマで発表しました。先輩たちの過去のアクションミーティングでの発表を踏まえて研究活動をより発展させる

ために、私たちは特に協働の中長期的な将来ビジョンを描くことに挑戦しました。あくまでも学生の視点だけからみた協働の将来ビジョンで、その名も「勝手に5カ年計画」というものでしたが、発表後の反響は大きく、多くの方々と意見交換ができ、また一步市民の方々と距離を縮めることができたと感じています。

次年度のアクションミーティングでは、「勝手に5カ年計画」を、今度は市民の方々と意見交換を踏まえた上で「勝手ではない5カ年計画」にブラッシュ・アップ\*し、共同研究として一緒に発表できたらと考えています。

\*ブラッシュ・アップ…磨き上げること